

2019年度 運営基本方針

『プレーヤーズファースト』 『反倫理的な行為の根絶』

岡山県小学生バレーボール連盟において、バレーボーラーの減少に伴うチーム数の減少、及び指導者の資質・倫理にかかわる問題は大きな課題となっています。

『スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化である』と定義されています。常にプレーヤーを中心に置き、指導者、保護者はプレーヤーが楽しいと感じながら活動することとその活動を通しての成長をサポートすることが大切です。以下の基本方針を関係者全員が理解し、スポーツという文化を大切に、そして『人間力の育成』をめざした活動を展開していきます。

めざす子ども像

- ・思いやりのある子ども
- ・自ら進んで活動する子ども
- ・感謝の気持ちを忘れない子ども

めざす指導者像

- ・バレーボールの楽しさ、素晴らしさを伝える指導者
- ・挨拶・マナーを重視する指導者
- ・学び続ける指導者

反倫理的な行為の根絶

本連盟は、暴力・暴言・パワハラ等の指導者として相応しくない行為の根絶をめざし、指導者と保護者が一体となって、円滑なチーム運営ができるよう努めていきます。万一、事案が発生した場合は、該当者（チーム）にペナルティーを科します。

バレーボール人口の拡大、普及

本年度も「U10キッズバレーボール交流大会」を実施することにより、早期にゲームを体験させ楽しさや魅力を体得してもらいたいと思います。また、各地区で実施しているミニソフトバレー等従来の活動も継続し、人口拡大と普及に努めていきます。

指導者・審判の資質向上と人材育成

県協会との連携を密にしながら、指導者の資質向上と新しい指導者や公認審判員の養成に一層努力していきたいと考えます。（研修会、講習会、大会）

本年度は指導者・保護者合同の研修会を開催します。